

# 「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」事業概念図

＜学校法人文理開成学園＞

## 調査研究の趣旨

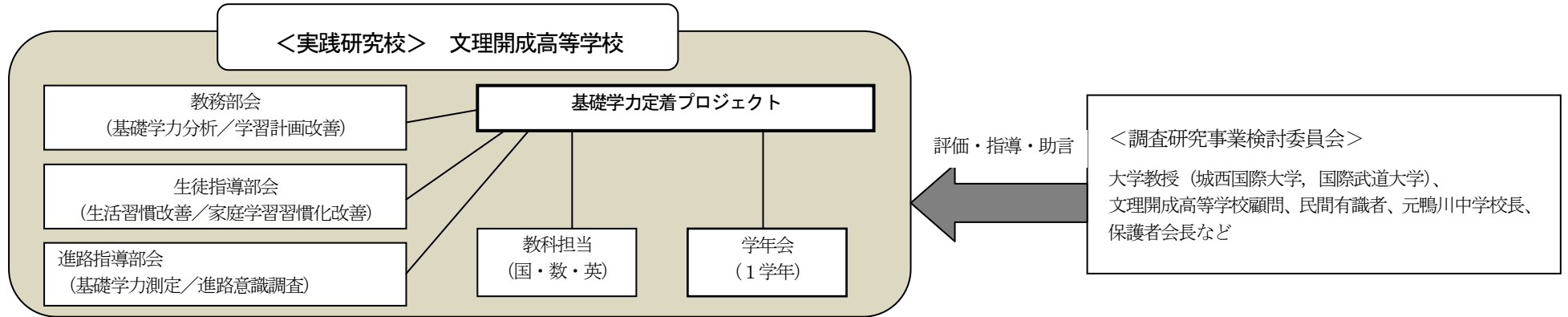
25年後の未来に活躍できる人材を育成するために  
人口減少社会の到来、急速なグローバル化の進展を前に、求められる人材が変化

- ・自ら課題を見つけ、その課題を解決することが出来る人材の育成が急務
- ・将来にわたり、主体的に学習に取り組むことができる態度の醸成が必要

～特に、基礎学力の確実な定着、学習意欲の喚起が重要  
～「基礎学力の定着に向けた学習改善」を目指した体制づくりや取り組みの改善に必要なPDCAサイクルの確立を目指す

## 調査研究の目的

- ①基礎学力の定着に必要な学習指導体制を確立する。
- ②学習意欲を喚起する学習指導の在り方を検討する。
- ③学習改善を図るためにPDCAサイクルを構築する。



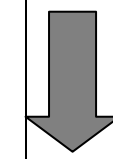
### I. 基礎学力の定義と現状把握 および 研究計画・指導計画の作成

- 学力スタンダード（シラバス）の作成による基礎学力についての共通理解
- 生徒の入学時の基礎学力、生活習慣、学習習慣の現状把握（基礎力診断テスト/アンケート等の実施と分析）
- 現状をふまえた研究計画・指導計画の作成



- ### II. 基礎学力の定着に向けた学習改善の取り組み
- 学習指導改善のための取り組み
    - ・基礎学力定着プロジェクト会議の定期的な開催
    - ・ICT活用、アクティブ・ラーニングによる授業実践
    - ・先進校視察
    - ・校内研修会の実施
  - 家庭学習の習慣化に向けたしくみの構築
  - 新規独自テスト問題の作成の取り組み
  - 近隣中学校との授業交流

- 予定している成果
- ◎校内の学習指導改善体制の確立
  - ◎教員の授業力向上
  - ◎生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着
  - ◎生徒の家庭学習の習慣化
  - ◎学校の活性化
  - ◎教師の作問能力の向上
  - ◎教員・生徒のICT活用力の向上



### IV. 取り組み結果に基づく指導改善

- 研究成果と改善点のとりまとめ
- 学習改善のためのPDCAサイクルが機能する体制の確立
- 構築したPDCAサイクルの普及
- 教育課程などの見直しの検討



- ### III. 基礎学力の定着度の測定及び分析
- 基礎学力の継続的な実施と分析
  - CBTを想定したテスト実施方法の検討
  - 学力調査の活用についての市内小中高の連携
  - 調査研究事業検討委員会の開催